

糖尿病治療・支援 の最新情報

—併存疾患へのアプローチを中心に—

特集にあたって

令和4年国民健康・栄養調査によると、「糖尿病が強く疑われる者」の割合は男性18.1%，女性9.1%であり，年齢が高いほど糖尿病有病者の割合が高くなることから，今後，糖尿病有病者は高いレベルで維持されることが予想されます．一方で，治療や支援の進歩を背景に糖尿病有病者の平均死亡時年齢は延伸しており，日本人一般の平均寿命との差は徐々に縮小しています．また，糖尿病有病者の主要死因において血管障害の比率は一貫して低下していることから，糖尿病有病者において糖尿病に併存する疾患の治療の重要性が高まっていることがうかがわれます．

本特集では，はじめに「糖尿病診療ガイドライン2024」における食事療法のポイントについてご解説いただき，糖尿病有病者にとくに多い併存疾患である心不全，糖尿病関連腎臓病，がん，肥満症などに焦点を当て，糖尿病に併存するときの治療と栄養支援のポイントについてご解説いただきます．そして，精神医学領域の知見から行動科学・社会医学的視点を踏まえた支援やケアのポイントと，栄養支援に直結する話題として低栄養を合併する糖尿病や予防のための時間栄養学の視点，能登震災における栄養支援についてご解説いただきます．本特集が，明日からの糖尿病診療・支援の一助となりますと幸いです．

（編集部）

企画協力：澤田実佳／東京大学医学部附属病院 病態栄養治療部